

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社アスラポート・ダイニング 上場取引所 東  
 コード番号 3069 URL http://asrapport-dining.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 将典  
 問合せ先責任者 (役職名) 法務総務部長 (氏名) 尾崎 富彦 (TEL) 03-6311-8892  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	31,142	18.8	703	△15.3	645	△6.9	662	90.9
29年3月期第3四半期	26,206	65.9	830	47.1	693	44.6	347	2.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 627百万円(465.1%) 29年3月期第3四半期 111百万円(△67.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	21.76	21.75
29年3月期第3四半期	12.02	11.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	34,817	8,943	24.2
29年3月期	27,722	7,715	26.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,435百万円 29年3月期 7,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	10.4	1,200	11.2	1,070	16.0	800	51.8	25.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	30,896,729株	29年3月期	29,890,439株
② 期末自己株式数	2,400株	29年3月期	2,400株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30,447,902株	29年3月期3Q	28,866,165株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の輸出、生産が順調に拡大するなかで、緩やかな景気回復基調が続きましたが、米国や欧州などの先進国における保護主義的な動きや、地政学リスクの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。外食及び食品生産業界におきましては、消費者の節約志向の根強さや、原材料の価格上昇及び人件費及び物流関連コストの上昇による利益の圧迫などにより、予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げ、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化」の各課題へ積極的に取り組み、当社グループの事業規模の拡充に努めてまいりました。昨年11月には、国内外市場における「食のバリューチェーン」機能の更なる拡充と高付加価値化の実現を基本方針とする平成31年3月期から始まる3か年の「新中期経営計画～Global Value Chain 2020」を策定いたしました。平成33年3月期に連結売上高650億円（海外売上比率20%超）、連結営業利益24億円（営業利益率4.0%を目標）、国内外店舗数1,000店舗体制を目指してまいります。また、新中期経営計画において更なる事業成長を実現すると共に、業績に応じた配当並びに株主優待制度の充実を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの取り組みは、次のとおりであります。

「既存ブランドの競争力強化と成長」におきましては、当第3四半期末の店舗数は822店舗（前年同四半期比で106店舗増）となりました。この中には新たに子会社化した業態の店舗数増加に加え、メキシカンファストフード業態「Taco Bell」の増加数も含まれております。同業態は、大阪初出店となる道頓堀店を昨年9月に、そして12月には神保町店をオープンしたのに続き、今年2月には東京ドームシティ店を、3月には渋谷公園通り店のオープンを予定しております。

「ブランド・ポートフォリオの多様化」におきましては、昨年8月に子会社化した株式会社モミアンドトイ・エンターテインメントのクレープ業態「MOMI&TOY'S」など71店舗や、10月に子会社化した大分県の和洋菓子メーカーである株式会社菊家の「お菓子の菊家」など40店舗が、当社グループに新たに加わっております。また、ラーメン業態において、濃厚な豚骨背脂系スープにたっぷりの山盛り野菜と極太麺が特徴である「らーめん大」のフランチャイズ出店や、新ブランド「辛味噌麺かのと」の直営店出店を行っております。

「海外市場への進出」におきましては、英国及びフランス、ドイツ、オランダ等E U圏の子会社を統括するAtariya Foods Limitedの下、グループ内外で事業再編と流通ネットワークの構築を行い、欧州においても「食のバリューチェーンを構築する」体制整備と拡充を行っております。具体的には、昨年12月にフランスを代表する有名企業・ブランドを顧客にもつ老舗ケータリング企業Riem Becker SASを子会社化しております。

「食品生産事業と六次産業化」におきましては、株式会社弘乳舎が、全国の「牛角」ブランド店へのPBアイスクリームを提供をはじめ、グループ外企業のPB及びNB商品の開発・販売も積極的に展開しております。九州乳業株式会社は、ヨーグルトや豆乳を中心とした製品開発を続けており、販路をディスカウントストア等にも拡大することで、着実に収益基盤の拡充を進めているほか、茨城乳業株式会社との共同生産販売体制を構築することで、全国規模の事業エリアの拡大を進めております。

なお、資本業務提携先である株式会社フルッタフルッタとは、当社グループの乳製品製造販売会社との共同商品開発などの取り組みが増えていく中で、その相乗効果をさらに加速し中長期的な関係性を深めるため、昨年11月に199百万円の第三者割当増資の引受を行っております。その結果、同社は当社の持分法適用関連会社となっております。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は31,142百万円（前年同四半期比18.8%増）、営業利益は703百万円（同15.3%減）、経常利益は645百万円（同6.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は662百万円（同90.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①販売

当第3四半期末における当社グループの店舗数は前述の通り822店舗となりました。内訳は直営店172店舗（前年同四半期比55店舗の増加）、フランチャイズ店650店舗（前年同四半期比51店舗の増加）となります。

「MOMI&TOY'S」など71店舗、「お菓子の菊家」など40店舗を含め、合計135店舗が増加した一方、焼鳥ブランド「とりでん」8店舗など、合計29店舗が減少いたしました。子会社化した株式会社モミアンドトイ・エンターテ

イメント及び株式会社ドリームコーポレーションの売上が寄与したことや、焼肉業態「牛角」事業、焼鳥業態「とり鉄」など主要販売4社が統合して発足した株式会社アスラポート並びにクレープ業態「MOMI&TOY'S」が利益に貢献した結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は12,800百万円（前年同四半期比43.6%増）、営業利益は690百万円（同20.9%増）となりました。

②流通

当社グループの流通事業部門は海外子会社7社により構成されております。英国T&S Enterprises (London) Limited及びドイツAtariya S.K.Y. GmbHや前期子会社化したオランダ2社（Atariya Foods Netherland B.V.及びAki Horeca B.V.）の売上は堅調に推移いたしました。ポンド¥安等による仕入価格高騰や流通コストの増加などの影響により、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,301百万円（前年同四半期比25.2%増）、営業利益は52百万円（同44.0%減）となりました。

③生産

当社グループの生産事業部門は、乳製品製造加工を行う3社及び肉用牛・乳用牛の仔牛の肥育を行う株式会社TOMONIゆめ牧舎の計4社により構成されております。株式会社弘乳舎は、利益率の高い余乳処理事業が減少したものの、脱脂粉乳やバターなど乳製品の大口販売と輸入食品原料の販売が増加いたしました。九州乳業株式会社は、配送コストの増加及び生産能力を維持する設備投資を実施したことにより費用が増加いたしました。茨城乳業株式会社は、生産設備の修繕費や電力料及び燃料費など製造経費が、更に株式会社TOMONIゆめ牧舎の牛舎設備投資に伴う償却費用負担がそれぞれ増加いたしました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は15,005百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益は302百万円（同36.6%減）となりました。

④その他

その他事業の内容といたしましては、店舗開発事業等による売上があり、当第3四半期連結累計期間における売上高は36百万円（前年同四半期比22.1%減）、営業利益は32百万円（同27.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は34,817百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,095百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が1,637百万円、投資有価証券が2,070百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、25,874百万円となり、前連結会計年度末に比べ、5,867百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,116百万円、長期借入金が1,913百万円増加したことによるものであります。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益662百万円の計上等により、前連結会計年度末と比べ1,227百万円増加し、8,943百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,305,971	6,669,036
受取手形及び売掛金	3,840,460	5,206,064
商品及び製品	1,154,067	1,146,369
仕掛品	23,366	64,316
原材料及び貯蔵品	368,514	694,745
その他	1,726,703	2,263,717
貸倒引当金	△76,747	△173,220
流動資産合計	13,342,335	15,871,029
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,074,486	3,628,209
その他(純額)	3,422,481	4,506,278
有形固定資産合計	6,496,967	8,134,487
無形固定資産		
のれん	3,709,525	4,419,978
その他	104,630	126,489
無形固定資産合計	3,814,156	4,546,467
投資その他の資産		
投資有価証券	2,669,367	4,739,807
その他	1,399,434	1,526,021
投資その他の資産合計	4,068,802	6,265,828
固定資産合計	14,379,926	18,946,784
資産合計	27,722,261	34,817,813

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,754,801	3,871,366
短期借入金	3,063,880	3,711,977
1年内返済予定の長期借入金	3,305,634	4,038,040
未払法人税等	155,738	152,156
賞与引当金	24,824	20,897
店舗閉鎖損失引当金	—	22,557
その他	2,173,157	2,979,934
流動負債合計	11,478,037	14,796,930
固定負債		
長期借入金	6,123,300	8,037,210
債務保証損失引当金	68,176	66,164
退職給付に係る負債	408,938	548,418
資産除去債務	267,146	362,651
その他	1,660,718	2,062,705
固定負債合計	8,528,279	11,077,150
負債合計	20,006,316	25,874,080
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,910,363	2,910,363
資本剰余金	2,881,267	3,378,740
利益剰余金	1,751,314	2,359,799
自己株式	△1,428	△1,428
株主資本合計	7,541,517	8,647,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,440	△8,926
為替換算調整勘定	△233,444	△200,949
退職給付に係る調整累計額	—	△1,853
その他の包括利益累計額合計	△170,004	△211,729
新株予約権	6,680	6,680
非支配株主持分	337,751	501,307
純資産合計	7,715,945	8,943,733
負債純資産合計	27,722,261	34,817,813

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	26,206,310	31,142,807
売上原価	18,876,734	21,724,918
売上総利益	7,329,576	9,417,888
販売費及び一般管理費	6,499,391	8,714,717
営業利益	830,185	703,171
営業外収益		
受取利息	27,649	22,940
受取配当金	1,445	1,510
為替差益	—	44,959
持分法による投資利益	—	12,247
その他	76,338	79,200
営業外収益合計	105,433	160,858
営業外費用		
支払利息	105,747	109,867
支払手数料	44,363	80,712
為替差損	36,570	—
持分法による投資損失	21,405	—
その他	34,346	28,224
営業外費用合計	242,433	218,803
経常利益	693,185	645,226
特別利益		
固定資産売却益	4,952	23,544
負ののれん発生益	66,465	175,543
資産除去債務戻入額	23,742	—
その他	24,831	64,815
特別利益合計	119,992	263,904
特別損失		
固定資産売却損	3,129	0
固定資産除却損	9,027	10,316
減損損失	—	91,868
その他	61,494	76,543
特別損失合計	73,651	178,728
税金等調整前四半期純利益	739,526	730,402
法人税、住民税及び事業税	257,314	199,420
法人税等調整額	104,777	△138,363
法人税等合計	362,091	61,056
四半期純利益	377,435	669,345
非支配株主に帰属する四半期純利益	30,339	6,734
親会社株主に帰属する四半期純利益	347,095	662,610

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	377,435	669,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,490	△74,548
為替換算調整勘定	△307,304	31,821
持分法適用会社に対する持分相当額	1,448	1,001
その他の包括利益合計	△266,365	△41,725
四半期包括利益	111,070	627,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,730	621,028
非支配株主に係る四半期包括利益	30,339	6,590

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年8月1日付で株式会社モミアンドトイ・エンターテイメントとの間で、当社を株式交換完全親会社、株式会社モミアンドトイ・エンターテイメントを株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本準備金が462,893千円増加し、3,073,257千円となっております。